

サーサナ

第34号 仏暦2559（西暦2016）年3月5日

命のつながり

仏説阿弥陀経に「共命鳥」（ぐみようちょう）という鳥が出てきます。美しい羽毛と鳴き声をもっていますが、一つの身体に二つの頭、という奇妙な姿をしています。

しかしこの二頭は、「私こそが世界でいちばん声が美しい」と思って、互いに仲が悪く、ついには「相手さえ亡きものにすれば、この私が世界一になれる」と考えるようになり、ある日密かに毒を混ぜ、片方に食べさせました。食べた方はもちろん死にましたが、食べさせた方も体が一つですから、死んでしまいました。しかし死ぬ直前に、「なんと愚かであったことか」と覚ったので、極楽浄土に往生することができ、その美しい声で法を説き続けています。その説法とは「他を滅ぼす道は己を滅ぼす道、他を生かす道こそ己の生かされる道」というものです。

命のつながり、といえ、親から子へのつながりを連想されがちですが、ほんとうはもっと広いのです。血縁関係で言うならば、世界の70億人の人々、いや人間だけでなくすべての生物は、40億年前という太古の昔に誕生した原始生命から進化・枝分かれをしてきました。つまり、すべての生き物は私の遠い親戚といってもいいのです。また、この私が身体をもち、ものを考え、話をし、活動ができるのは、私の外部の生物・無生物があつてこそです。一切れの肉、一枚の衣服、一本の鉛筆、これらすべて私が無から作り上げたわけではありません。いろいろな条件が蓄積されて、この私の元に届けられたのです。これを「おかげさま」といいます。

しかし私たちはともすると、自分の都合のいい時にだけ「おかげさま」といい、都合が悪いと「～のせいで」と責任転嫁しがちです。あなたには憎い相手がいるかもしれません。その憎い相手を憎み続けている限り、かつての共命鳥と同じ愚かさにはばられていることになります。

個人間のことだけでなく、民族と民族・国と国・宗教と宗教との関係についても同じことがいえます。対立は自分を滅ぼす毒です。

法要行事のご案内

各法要・行事に必要な勤行本は、お持ちでない場合は当寺より進呈または貸与いたします。念珠は必ずご持参ください。また肩衣の着用を推奨します。肩衣とは浄土真宗の仏事における正装で、本山また当寺でも授与することができます。

三月 春彼岸会

彼岸（ひがん）は此岸（しがん）に対することばで、悟りの世界のこと、すなわち浄土の別名です。経典に「西方極楽浄土」とあることから、太陽が真東から昇り真西に沈む春分・秋分の日に、沈む太陽を見ながら浄土に思いをはせたのが由来です。

- ❖日時 3月20日（日）午後2時～4時
受付開始は午後1時半
- ❖内容 勤行（観無量寿経訓読、正信偈）、
法話（住職）
- ❖持ち物 勤行本『真宗法要聖典』『正信偈同
朋奉讃』
- ❖記念施本 『おもい（如意）』
（仏教伝道協会）



四月 花祭りコンサート

花祭りは、お釈迦様の生誕をお祝いする行事で、甘茶を誕生仏に注ぎます。これを灌仏（かんぶつ）といいます。

「花祭りコンサート」は、毎年好評をいただいています。今年も小島千加子さんによる演奏を予定しています。

- ❖日時 4月8日（金）午後2時～4時
午後2時より受付開始と灌仏
- ❖内容 第一部（2時半～）法要
（嘆仏偈・念仏和讃）
第二部（3時～）コンサート
（ピアニスト 小島千加子さん）
 1. 仏教讃歌
 2. ピアノソロ
 3. みんなで歌おう（以上の曲目は未定）
- ❖持ち物 勤行本『大谷派勤行集』
- ❖記念品 紅白薯蕷饅頭



五月 永代経

子々孫々、永代にわたって、浄土三部経が読誦され、仏法が伝えられることを願いとする法要。御懇志を頂いたお方の法名を記した掛け軸をお掛けします。（「永代経」という名前のお経があるわけではありません。）

なお、永代経のご懇志については随時受け付けています。

- ❖日時 5月25日（水）午前10時～午後3時
受付開始は午前9時半より
- ❖内容 勤行（無量寿経・阿弥陀経訓読、正信偈）、法話（石原和久師）
- ❖持ち物 勤行本『正信偈同朋奉讃』『真宗法要聖典』
- ❖お斎（昼食）接待があります
- ❖記念品 宗祖親鸞聖人750回御遠忌記念 あぶらとり紙
皮膚の余分な脂をおさえるだけでなく、眼鏡レンズや携帯電話の画面クリーナーとしてもお使いいただけます。

清掃・おみがき奉仕

皆様方のご奉仕をお願いしております。終了後はお茶とお菓子でおくつろぎ下さい。

- ❖4月12日（火）午前8時～9時 境内草取り（雨天中止）
- ❖5月12日（木）午前9時～11時 仏具磨き

永代経懇志お礼

下記の方々から永代経懇志を頂戴いたしました。ここにあらためてお礼申し上げますと共に、今後とも法義相続されますことをお願いいたします。

- 2015年9月16日 智徳院釋勝覚（願主・古井様[名東区上社]）
- 2015年9月20日 釋鐘音（願主・伊藤様[瑞穂区軍水町]）
- 2015年11月7日 徳照院釋尼妙鈴/晃良院釋篁相
（願主・山田様[東区砂田橋]）

本堂にてご法事を

ご自宅の仏間が狭い、来客用駐車場がない。。。このような場合、教心寺の本堂をご利用下さい。椅子・冷暖房の設備があります。使用料は本堂1万円（仏花料）、座敷でお斎をとられる場合1万円といたします。供物は随意で別途ご用意下さい。詳しくはご相談下さい。

真宗大谷派名古屋教区・名古屋別院
宗祖親鸞聖人750回御遠忌法要

御遠忌テーマ「ともに生きる —いのちのつながり—」
2016年4月22日～4月24日・4月26日～5月1日

(概要趣意書より)

2016年4月、名古屋別院(東別院)において親鸞聖人の御遠忌(ごえんき)法要が厳修されます。

御遠忌法要とは、50年ごとにお勤めされる宗祖・列祖の法要のことです。名古屋別院では、これまでも宗祖親鸞聖人、そして近年には、中興の祖である第8代蓮如上人と名古屋別院の開基である一如上人の御遠忌法要をお勤めしてまいりました。

今回の御遠忌法要をとおり、いま一度自らの生き方、生活の有様を見つめ直し、あらためて親鸞聖人が明らかにされた本願念仏の教えに出遇わせていただくことを願いに、お勤めさせていただきます。

この法要期間は、伝統法要や法話の他、さまざまなイベントが開催されます。

- こども御遠忌
- 舞楽
- 俳句大会
- 演劇「親鸞・恵信尼結婚披露宴」
- 御遠忌同朋会
- 音楽法要
- 展示「親鸞聖人と尾張門徒」
- 見よう 聞こう 語りあおう 東別院広場
- 寺カフェ
- 井上雄彦 屏風『親鸞』展示会
- 別院手づくり縁日



以上は一例です。一部イベントおよび伝統法要には事前参加予約が必要です。詳細についてはお尋ね下さい。参拝申込書は当寺に用意があります。

真宗大谷派 教心寺 (名古屋教区第30組)

編集発行人 釋眞式 (山口眞一)

468-0026 名古屋市天白区土原3丁目205番地

電話：801-1381 FAX：807-1198 電子メール：kyosin@nagoya30.net

URL <http://www.nagoya30.net/temple/kyosin/>
